

第2 平成28年度の主な取組状況

○重点的施策の展開

1 山里のひと・なりわいをつくる

(1) 地域特性を活かした農林水産業の振興

<主な取組状況>

- 本県の中山間地域で栽培されているブランド米「ミネアサヒ」に、いもち病とイネ縞葉枯病に対する抵抗性を導入した**新品種「中部138号」**を開発した。



「中部138号」



いもち病の発生程度の比較（左：中部138号 右：ミネアサヒ）

- 愛知県林業労働力確保支援センター等と連携し、平成 28 年 11 月 20 日に開催された「**森林の仕事ガイダンス**」において**就業相談活動**を実施したほか、**林業技術者の育成研修**などを実施した。



森林の仕事ガイダンス（名古屋市：11月20日）

- 林道事業による**林道、林業専用道**の開設・改良・舗装及び造林事業による**森林作業道**を計画的に整備した。
- 内水面資源の増大を図るため、愛知県産の**放流用あゆ種苗 200 万尾を生産**した。

(2) 農商工連携や 6 次産業化等の促進

<主な取組状況>

- あいち中小企業応援ファンドにおける**農商工連携応援ファンド**を実施し、新製品の開発や販路拡大等の事業に対して助成を行った。
- 「**山里の魅力創造社**」により、**TV番組** 10 回の放送、小冊子「**ことりっぷ**」 10,000 部の発行、名古屋発着の**バスツアー** 10 本の催行を実施し、情報発信と三河山間地域の食・景観・温泉・人などに触れ合う機会を設けた。
- 地元で収穫される食材を使用した「**愛知を食べる学校給食の日**」を年 3 回実施するとともに、地場産物を取り入れた「**学校給食献立コンクール**」や「**あいちの味覚たっぷり！わが家の愛であ朝ごはんコンテスト**」を開催した。

(3) 地域課題等に取り組むNPOや企業等の活動促進

<主な取組状況>

- “集落と交流したい”都市部の企業やNPO、大学等と、“都市部の人と交流したい”三河山間地域の集落等が、一緒に活動しながら交流を進める「**愛知の一社一村ふるさとハッスル運動**」の周知を行った。
- 中小企業と同様に事業を行い、地域の経済や雇用を担うNPO法人の資金調達を支援するため、制度融資において平成27年10月1日から新たに融資対象とした、**中小規模のNPO法人向けの金融支援**を引き続き実施した。
- 公共サービスを担うNPOを増やし、協働の裾野を広げていくために、NPOの人材育成に関する講座である「**NPOマネジメントスクール**」を名古屋と三河で開催した他、NPOの基盤強化を支援するため、NPO法人の会計整備及び信頼性向上のための講座である「**NPO会計セミナー・NPO信頼性向上セミナー**」を名古屋と三河で開催した。

(4) 担い手人材の育成支援

<主な取組状況>

- 三河の山里で起業を目指す者を募集し、**起業家向けのセミナー**を年10回実施した。



起業実践者向けセミナー(2月21日)

- 県内の農業者を対象に、新技術や経営に関する知識の習得を図るための研修として実施している**農業者生涯教育研修**（生産高度化研修）のうち、「**ジネンジョ栽培**の基本とコツ」をテーマとした同研修を平成 29 年 2 月 14 日に愛知県立農業大学校で実施した。

ジネンジョは主に山間地域の特産品であり、県内のジネンジョ生産者（主に三河山間部の農業者）183 名が、ジネンジョ栽培の技術や産地の新たな取組について学んだ。



農業大学校（2月14日）

- 新城設楽地域の市町村、JA、その他関係機関などと連携して、**就農相談会**の開催や県内外で開催される**就農支援・相談ブース**に出展した。



新・農業人フェア名古屋会場（9月22日：ウイंकあいち）